令和７年３月１８日
報道発表資料
川崎市（多摩区役所）

令和６年度多摩区区民意識アンケートの結果をお知らせします

多摩区役所では、区民が普段多摩区について感じていることや、区民の地域活動に対する意識、区役所が推進する主な取組に関する意識などを調査する、多摩区区民意識アンケートを隔年で実施しており、この度、令和６年度の調査結果を取りまとめましたのでお知らせします。

今回の調査では、生田出張所の地域での活用に関する設問を新たに追加し実施しました。今後はアンケート結果を基礎資料とし、区政運営や地域課題解決に向けた取組などにいかしてまいります。

１　調査の概要

（１）調査対象　多摩区在住の 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）2,000 人
（住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出）

（２）調査方法　郵送法（郵送配布・郵送回収／インターネット回答）

（３）調査期間　令和６年 10 月１日（火）～令和６年 10 月 31 日（木）

（４）有効回収数　807 人（有効回収率 40.4%）【前回比-3.1 ポイント】

（５）調査結果（主な内容）

ア　多摩区の長所・魅力（複数回答）

◯公共交通の利便性がよい（60.8%）【前回比-0.5 ポイント】

イ　定住意向

◯多摩区内に住み続けたい（60.3%）【前回比+1.2 ポイント】

ウ　区役所が力を入れて取り組むべき施策（複数回答）

◯災害時の対応などの危機管理（48.3%）【前回比+1.1 ポイント】

◯防犯対策（46.2%）【前回比+7.7 ポイント】

エ　地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組（複数回答）

◯懐中電灯など、停電に対する備え（61.3%）【前回比-5.3 ポイント】

〈新規設問〉

オ　生田出張所の市民利用スペースの認知度（複数回答）

◯大会議室（２階）（5.9%）

◯多目的スペース（３階）（5.6%）

カ　生田出張所がコミュニティ拠点として活用されるために、力を入れてほしい取組（複数回答）

◯利用可能な活動（多摩区内での地域活動）の拡充（14.3%）

◯予約手続（電話・メール予約）の簡便化（12.6%）

２　公表方法

（１）多摩区ホームページに報告書本編及び概要版を公表

【URL】https://www.city.kawasaki.jp/tama/page/0000174658.html

区HP

（２）多摩区役所及び生田出張所市政資料コーナー等に報告書本編及び概要版を配架

【問合せ先】
川崎市多摩区役所まちづくり推進部企画課　相原
電話　044-935-3144

令和６年度
多摩区区民意識アンケート調査
報　告　書【概要版】

令和７年２月

川 崎 市 多 摩 区

調査概要

（１）調査の対象者 ‥‥ 多摩区在住の 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）
（２）標本抽出方法‥‥‥ 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
（３）調査方法 ‥‥‥‥‥ 郵送法（郵送配布・郵送回収／インターネット回答）
（４）調査期間 ‥‥‥‥‥ 令和 6 年 10 月 1 日(火)～令和 6 年 10 月 31 日(木)
（５）調査委託機関 ‥‥ 株式会社 綜研情報工芸

回収状況

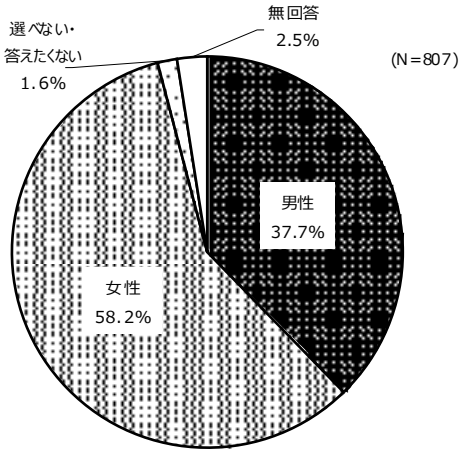
（１）標本数　　2,000 票
（２）有効回収数　807 票（有効回収率　40.4%）

主要な調査項目

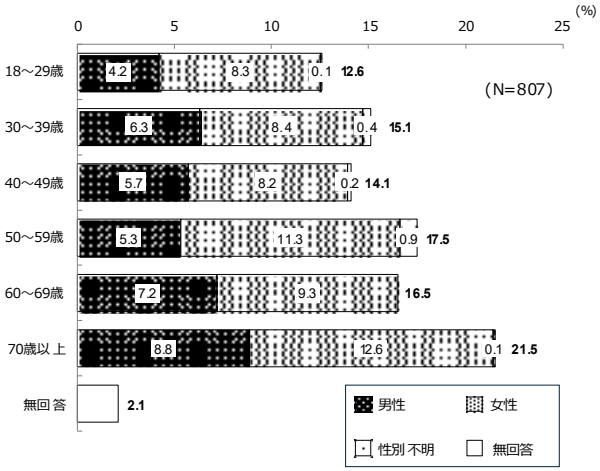
□生活環境の満足度について
□市政への参加、地域でのボランティア活動などについて
□区役所が推進する主な取組みについて

調査回答者の属性

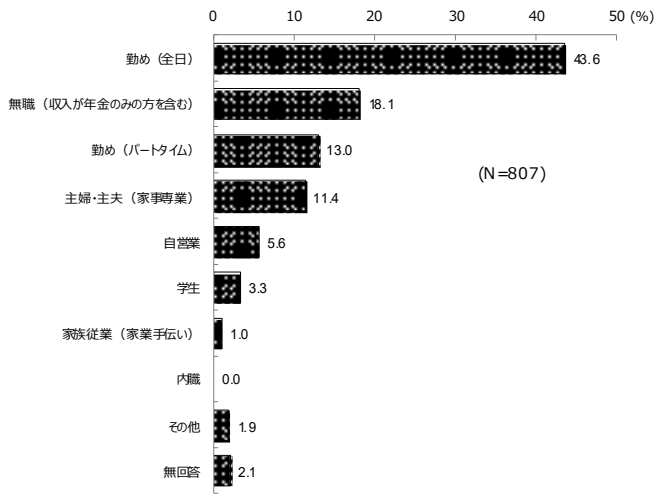
◆性別



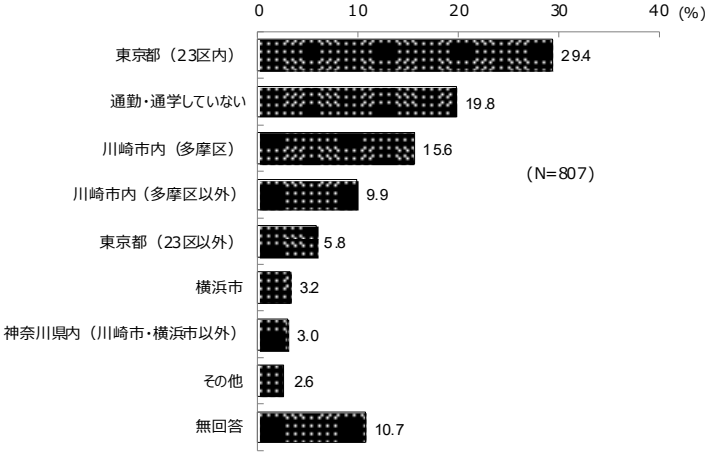
◆性年代別



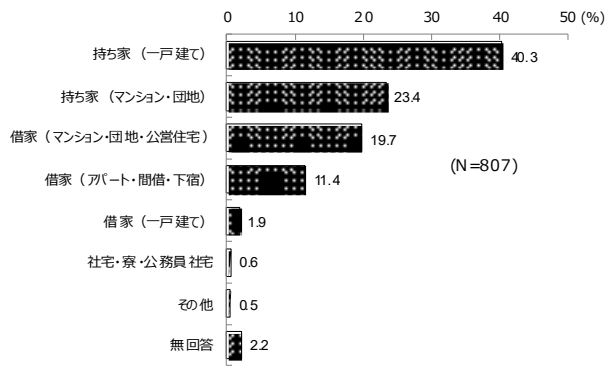
◆職業



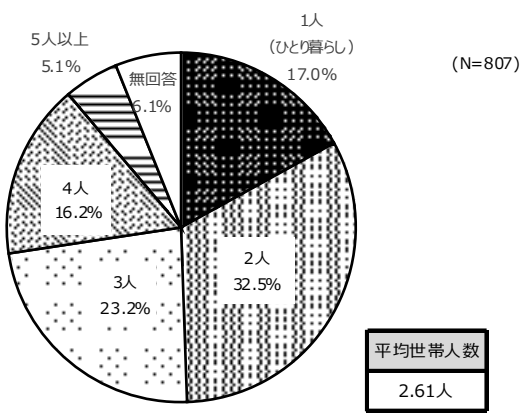
◆通勤先/通学先



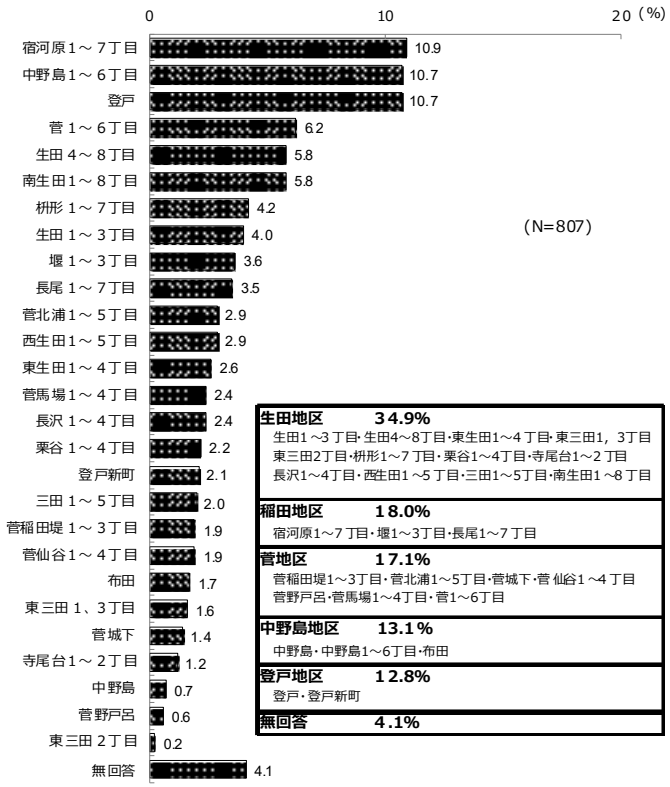
◆住居形態



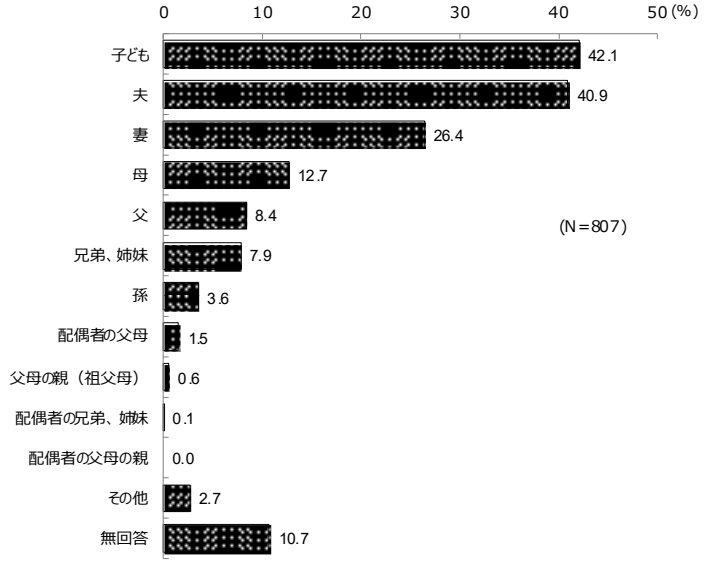
◆世帯人数



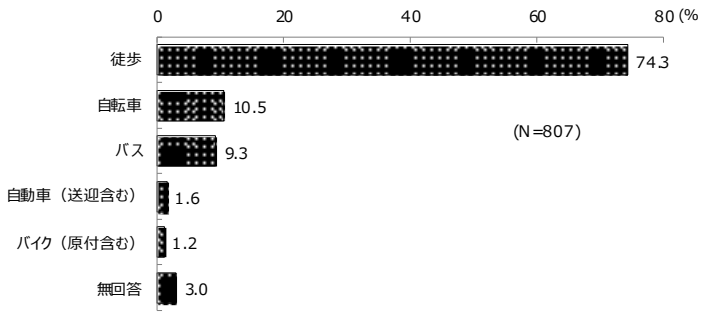
◆居住地



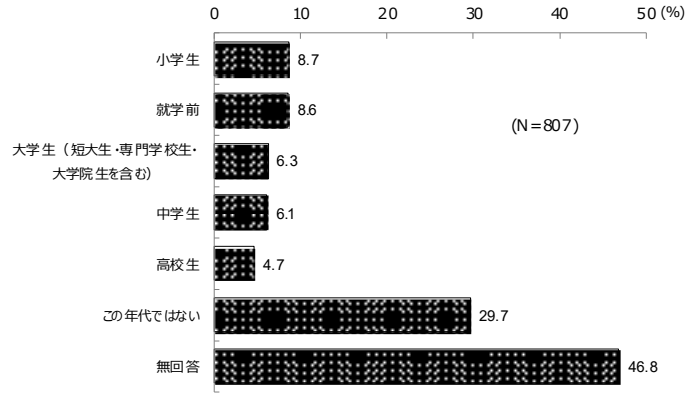
◆同居家族



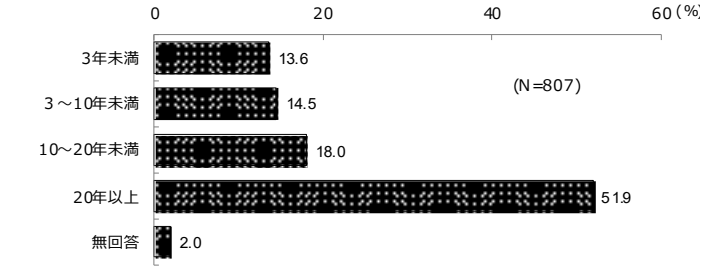
◆最寄り駅までの交通手段



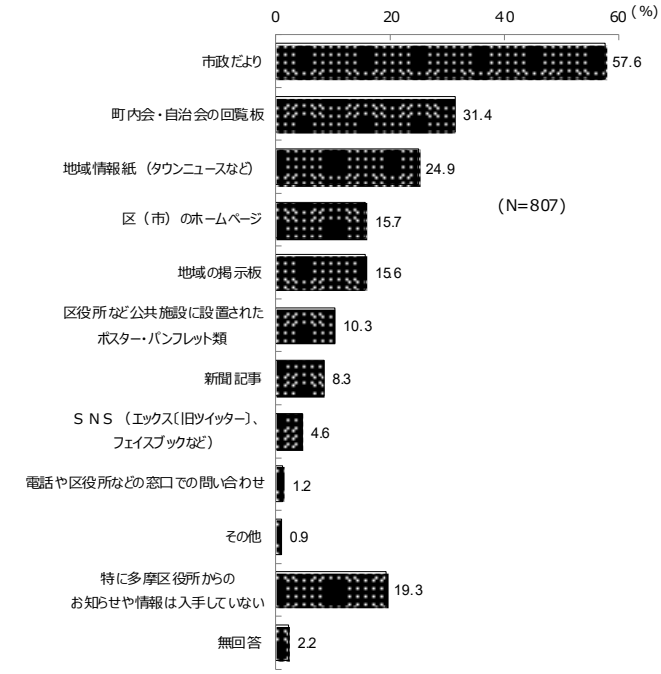
◆子どもの年代



◆居住年数

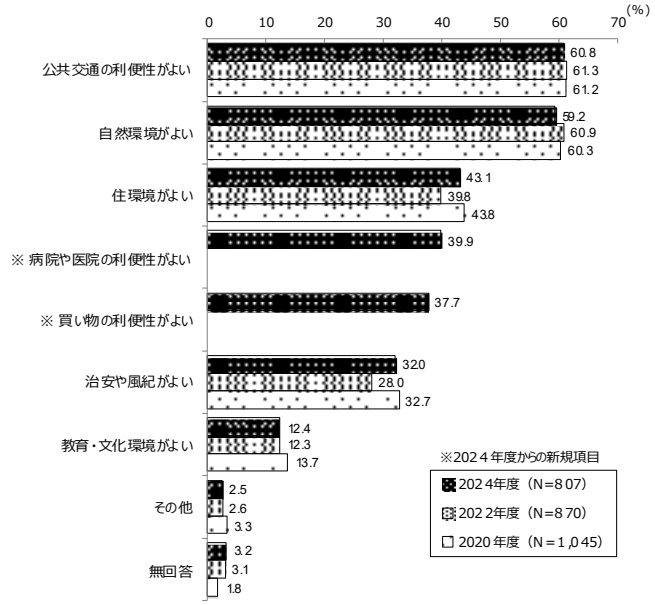


◆区の知らせや情報の入手手段



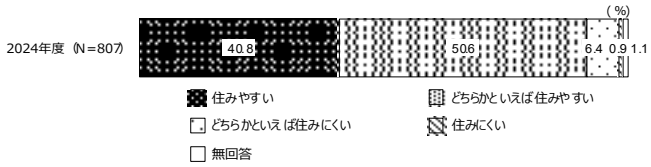
生活環境の満足度について

1　多摩区の長所・魅力



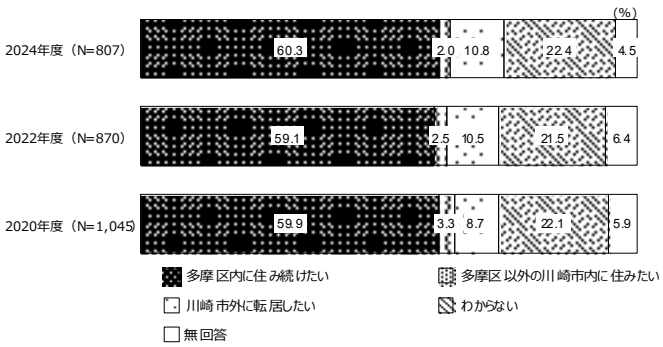
「多摩区の長所・魅力」について聞いたところ、「公共交通の利便性がよい」（60.8%）が最も高い結果となり、次いで「自然環境がよい」（59.2%）、「住環境がよい」（43.1%）となっている。

2　住みやすさ



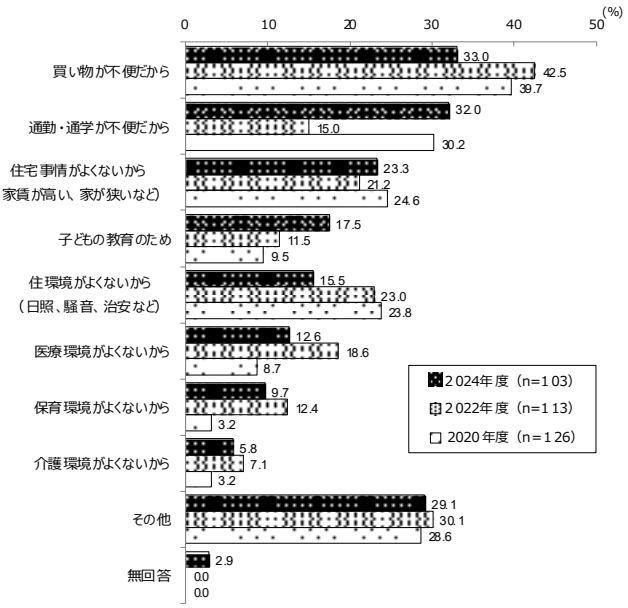
「住みやすさ」について聞いたところ、「どちらといえば住みやすい」（50.6%）、「住みやすい」(40.8%)の順となり、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』は 91.4%となっている。

3　定住意向



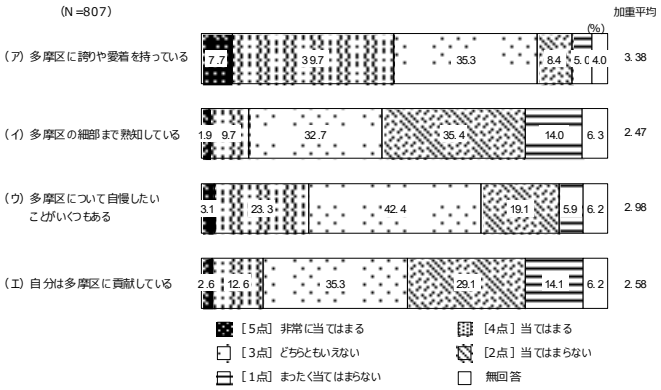
「定住意向」について聞いたところ、「多摩区内に住み続けたい」（60.3%）が最も高い結果となった。

4　区外転居意向の理由



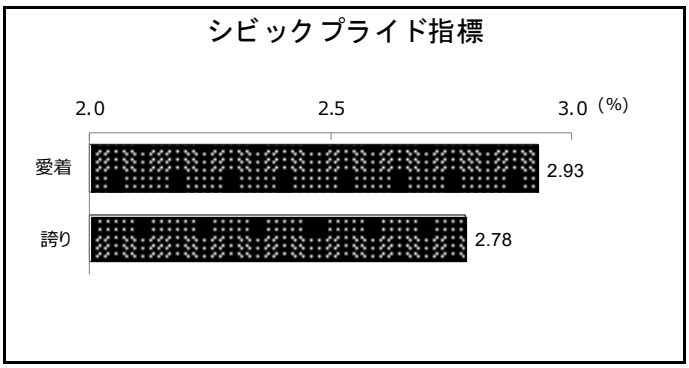
「定住意向」で、「多摩区以外の川崎市内に住みたい」「川崎市外に転居したい」と回答した人に「区外転居意向の理由」について聞いたところ、「買い物が不便だから」（33.0%）が最も高く、次いで「通勤・通学が不便だから」（32.0%）、「住宅事情がよくないから（家賃が高い、家が狭いなど）」（23.3%）の順となった。

５　多摩区に対する愛情や誇り



「多摩区に対する愛情や誇り」について聞いたところ、「非常に当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる計』では、他の項目に比べ、「(ア)多摩区に誇りや愛着を持っている」(47.4%)が最も高くなっている。

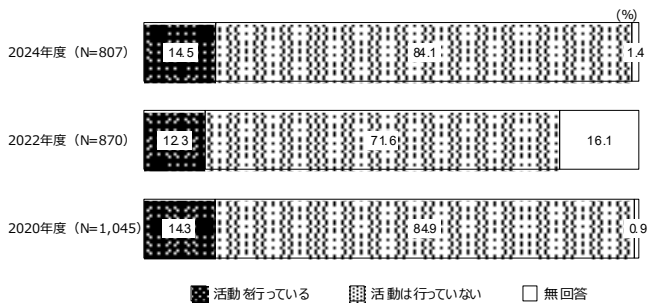
一方、「まったく当てはまらない」と「当てはまらない」を合わせた『当てはまらない計』では「(イ)多摩区の細部まで熟知している」(49.4%)が最も高くなっている。



シビックプライド指標とは、自分の住んでいるまちに対する愛着や誇りを表す概念のこと。多摩区では、質問(ア)、(イ)を「愛着」、質問(ウ)、(エ)を「誇り」の指標として、それぞれの質問項目の平均値から算出した。

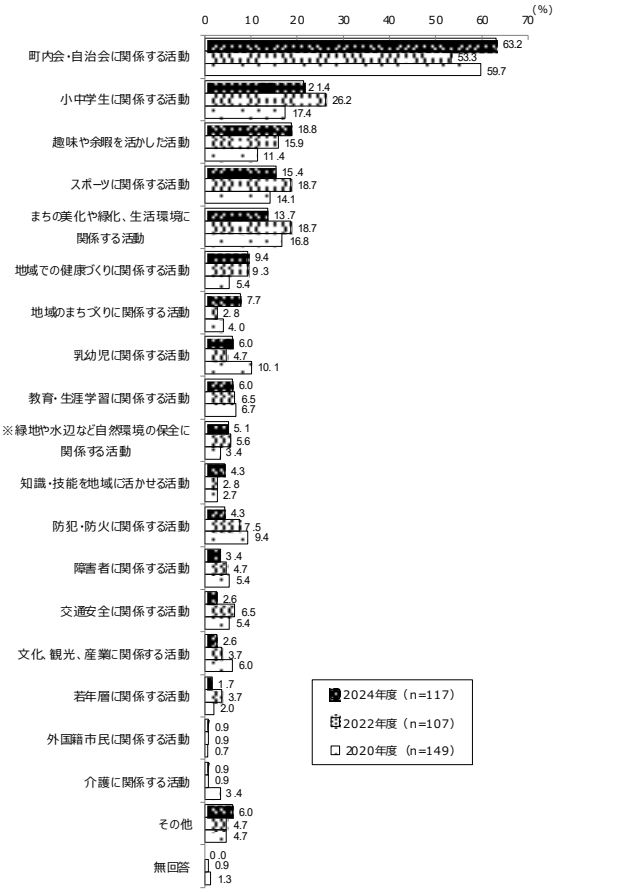
市政への参加、地域でのボランティア活動などについて

6　地域活動の状況



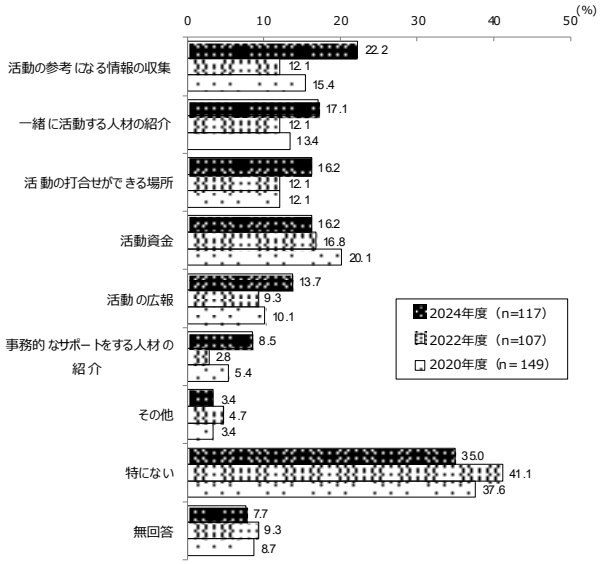
「地域活動の状況」について聞いたところ、「活動を行っている」は14.5%で、2022年度と比較すると2.2ポイント上昇している。

7　行っている地域活動の分野



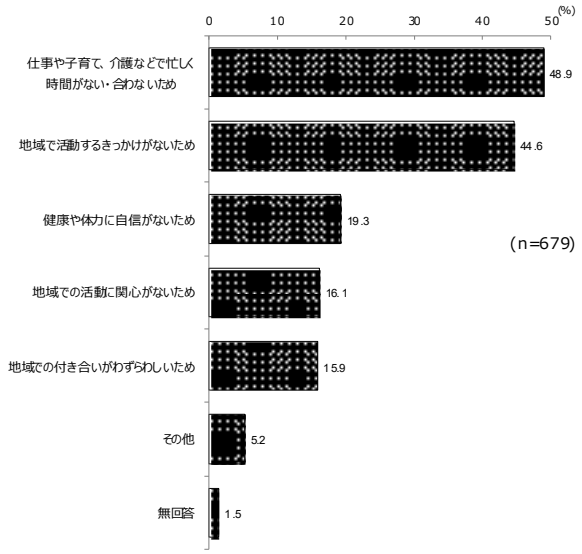
「6 地域活動の状況」で「活動を行っている」と回答した人に、「行っている地域活動の分野」について聞いたところ、「町内会・自治会に関係する活動」(63.2%)が最も高く、次いで「小中学生に関係する活動」(21.4%)、「趣味や余暇を活かした活動」(18.8%)の順となった。

8　地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの



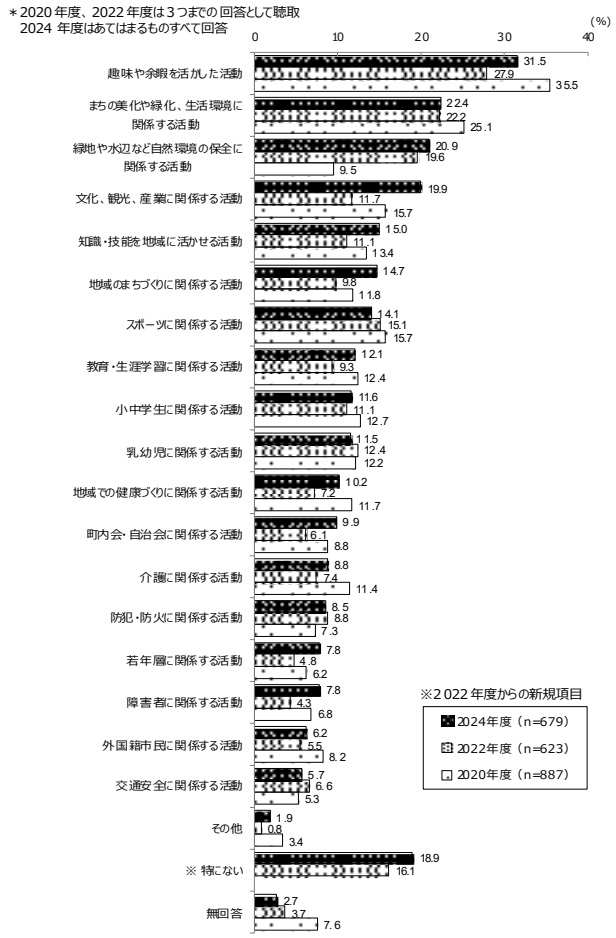
「6 地域活動の状況」で「活動を行っている」と回答した人に、「地域活動をする上で支援を受けたいと思うもの」について聞いたところ、「活動の参考になる情報の収集」(22.2%)が最も高く、次いで「一緒に活動する人材の紹介」(17.1%)、「活動の打合せができる場所」「活動資金」(ともに16.2%)、「活動の広報」(13.7%)の順となった。

9　地域活動を行っていない理由



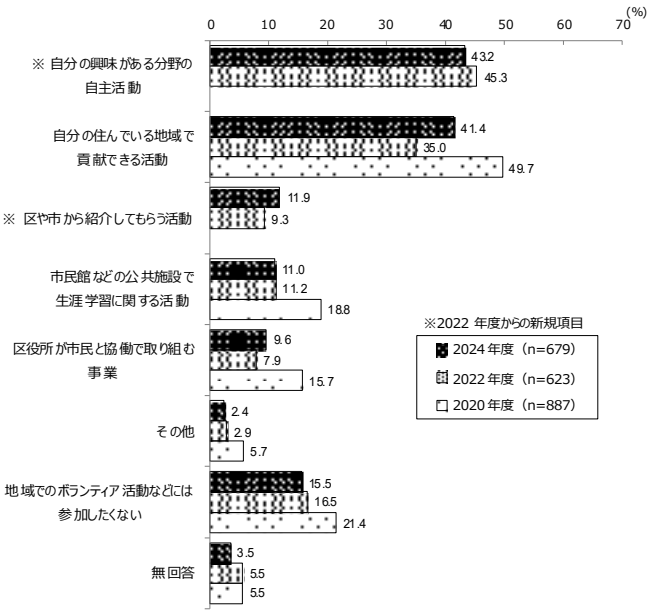
「6 地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動を行っていない理由」について聞いたところ、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」(48.9%)が最も高く、次いで「地域で活動するきっかけがないため」(44.6%)、「健康や体力に自信がないため」(19.3%)の順となった。

１０　地域活動への関心分野



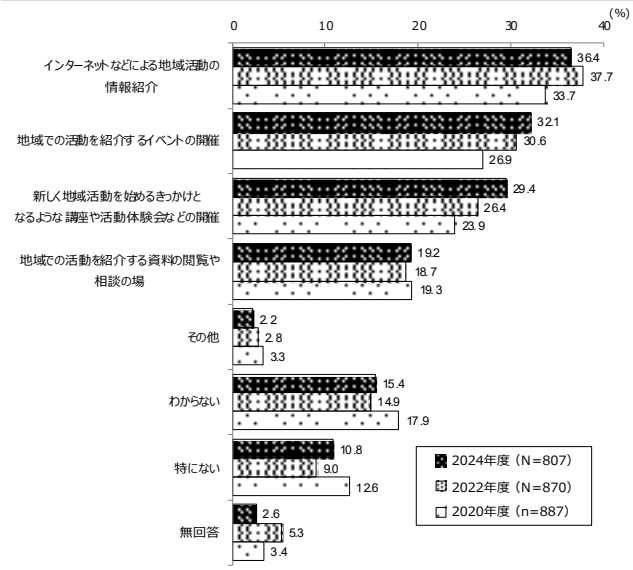
「６　地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動への関心分野」について聞いたところ、「趣味や余暇をした活動」（31.5%）が最も高く、次いで「まちの美化や緑化、生活環境に関係する活動」（22.4%）、「緑地や水辺など自然環境の保全に関係する活動」（20.9%）、「文化、観光、産業に関係する活動」（19.9%）の順となった。

１１　地域活動への取組意向



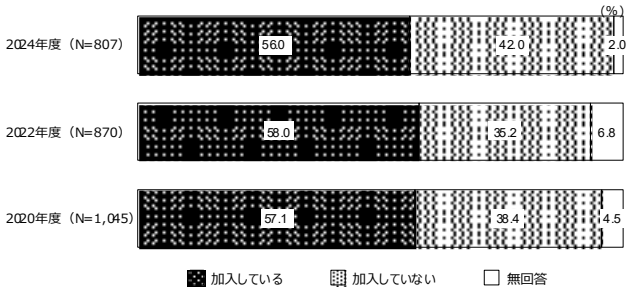
「６　地域活動の状況」で「活動は行っていない」と回答した人に、「地域活動への取組意向」について聞いたところ、「自分の興味がある分野の自主活動」（43.2%）が最も高く、次いで「自分の住んでいる地域で貢献できる活動」（41.4%）、「区や市から紹介してもらう活動」（11.9%）、「市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動」（11.0%）の順となった。

１２　地域活動を始めるために必要な機会や場



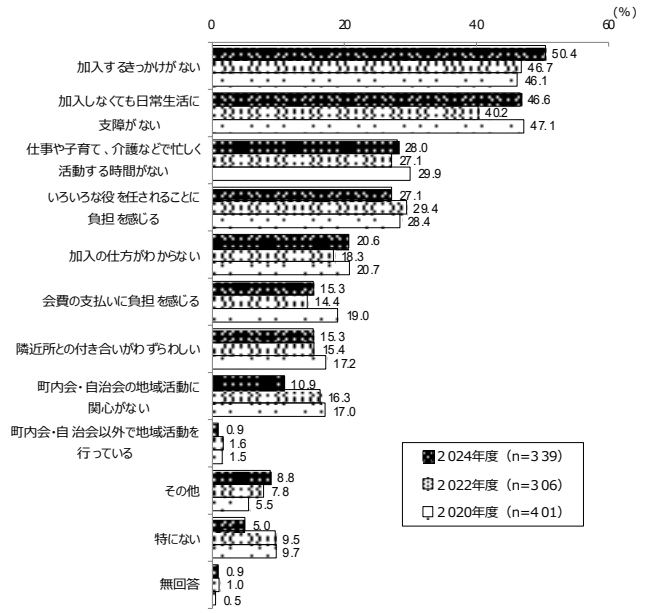
「地域活動を始めるために必要な機会や場」について聞いたところ、「インターネットなどによる地域活動の情報紹介」（36.4%）が最も高く、次いで「地域での活動を紹介するイベントの開催」（32.1%）、「新しく地域活動を始めるきっかけとなるような講座や活動体験会などの開催」（29.4%）の順となった。

１３　町内会・自治会への加入状況



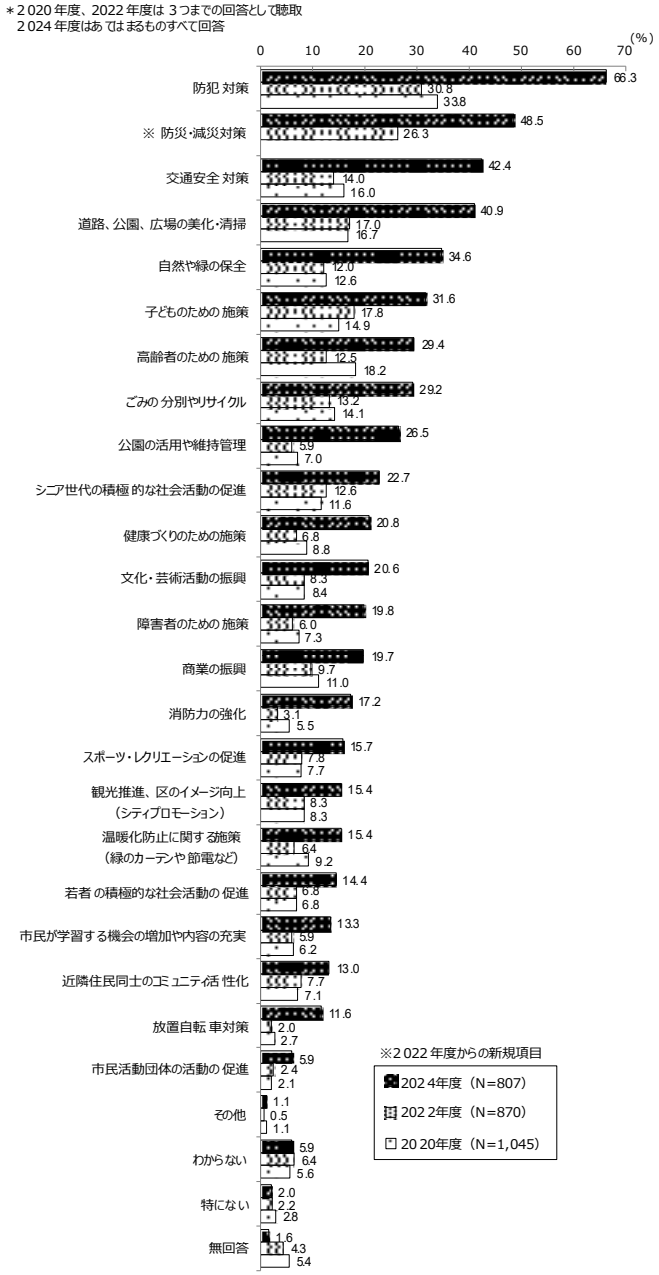
町内会・自治会への加入状況」について聞いたところ、「加入している」（56.0%）、「加入していない」（40.2%）となった。

１４　町内会・自治会に加入していない理由



「１３ 町内会・自治会への加入状況」で「加入していない」と回答した人に、「町内会・自治会に加入していない理由」について聞いたところ、「加入するきっかけがない」(50.4%)が最も高く、次いで「加入しなくても日常生活に支障がない」(46.6%)、「仕事や子育て、介護などで忙しく活動する時間がない」(28.0%)、「いろいろな役を任されることに負担を感じる」(27.1%)の順となった。

１５　区民と行政が協働して取り組んだ方が効果的だと思うもの

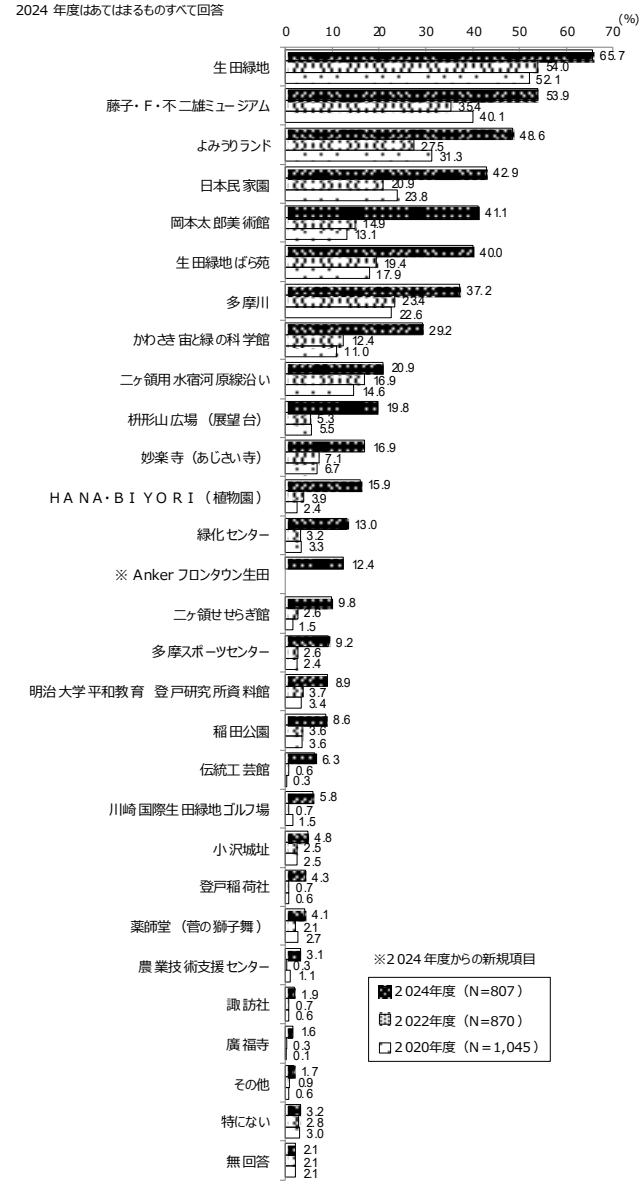


「区民と行政が協働して取り組んだ方が効果的だと思うもの」について聞いたところ、「防犯対策」(66.3%)が最も高く、次いで「防災・減災対策」(48.5%)、「交通安全対策」(42.4%)、「道路、公園、広場の美化・清掃」(40.9%)の順となった。

区役所が推進する主な取組について

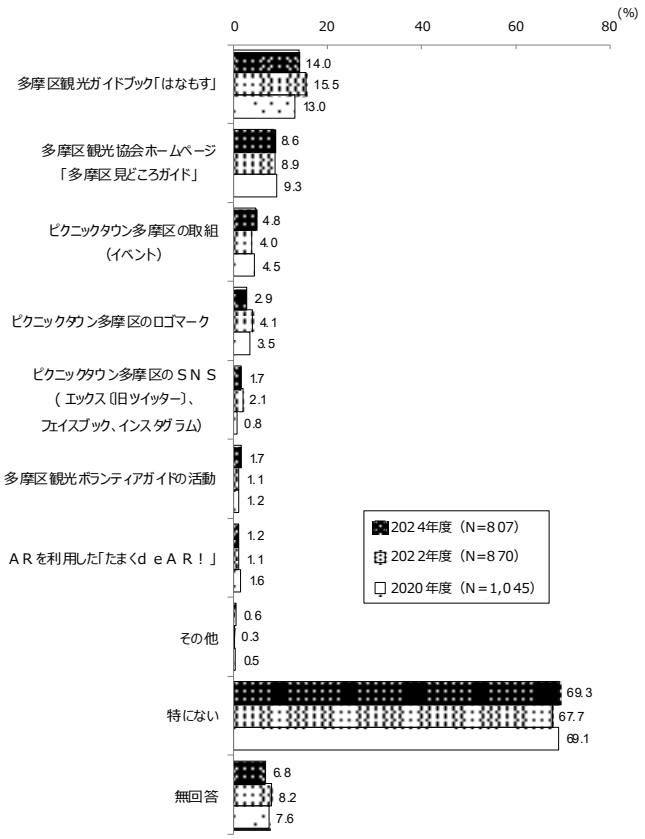
１６　多摩区の見どころ

＊2020 年度、2022 年度は３つまでの回答として聴取
2024 年度はあてはまるものすべて回答



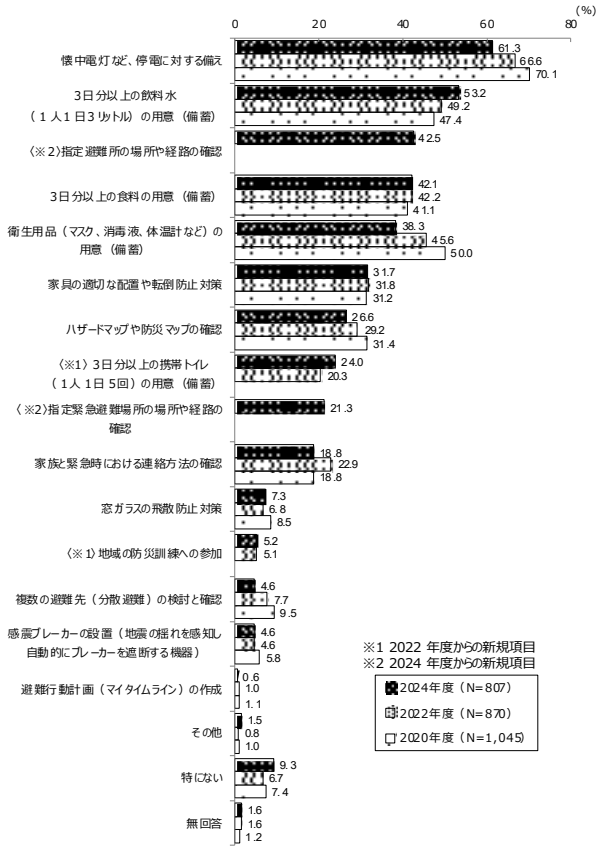
「多摩区の見どころ」について聞いたところ、「生田緑地」(65.7%)が最も高く、次いで「藤子・F・不二雄ミュージアム」(53.9%)、「よみうりランド」(48.6%)、「日本民家園」(42.9%)の順となった。

１７　区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況



「区の観光振興やイメージ、地域ブランド向上を目指す取組の認知状況」について聞いたところ、「特にない」(69.3%)が最も高い結果となった。知っているもの、見たことのあるもので見ると、「多摩区観光ガイドブック『はなもす』」(14.0%)が最も高く、次いで「多摩区観光協会ホームページ『多摩区見どころガイド』」(8.6%)の順となった。

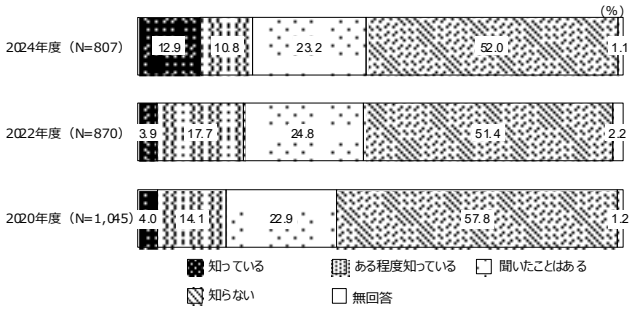
１８　地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組



「地震・風水害などの災害に備えるため、家庭内で現在行っている取組」について聞いたところ、「懐中電灯など、停電に対する備え」(61.3%)が最も高く、次いで「３日分以上の飲料水（１人１日３リットル）の用意（備蓄）」(53.2%)の順となった。

１９　「地域包括ケアシステム」の認知状況

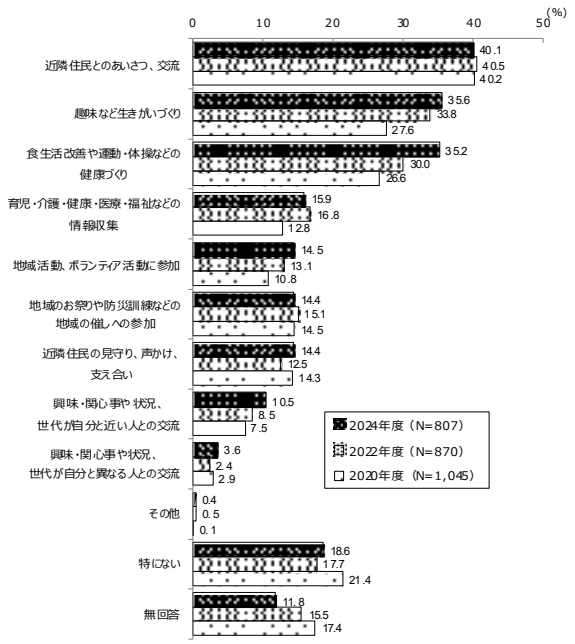
＊2020 年度、2022 年度は「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」「知らない」の選択肢で聴取



「『地域包括ケアシステム』の認知状況」について聞いたところ、「知らない」(52.0%)が最も高く、次いで「聞いたことはある」(23.2%)、「知っている」(12.9%)、「ある程度知っている」(10.8%)の順となった。

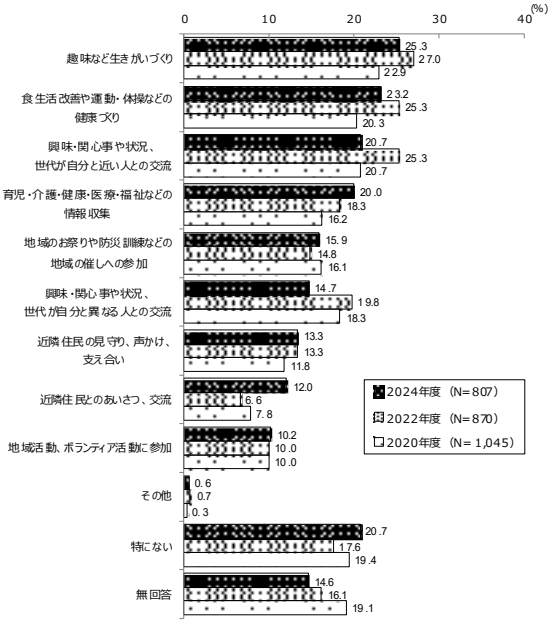
「知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』(46.9%)は、2022 年度と比較しても大きな差は見られない。

２０　「地域包括ケアシステム」における自助・互助の活動状況



「『地域包括ケアシステム』における自助・互助の活動状況」について聞いたところ、「近隣住民とのあいさつ、交流」(40.1%)が最も高く、次いで「趣味など生きがいづくり」(35.6%)」の順となった。

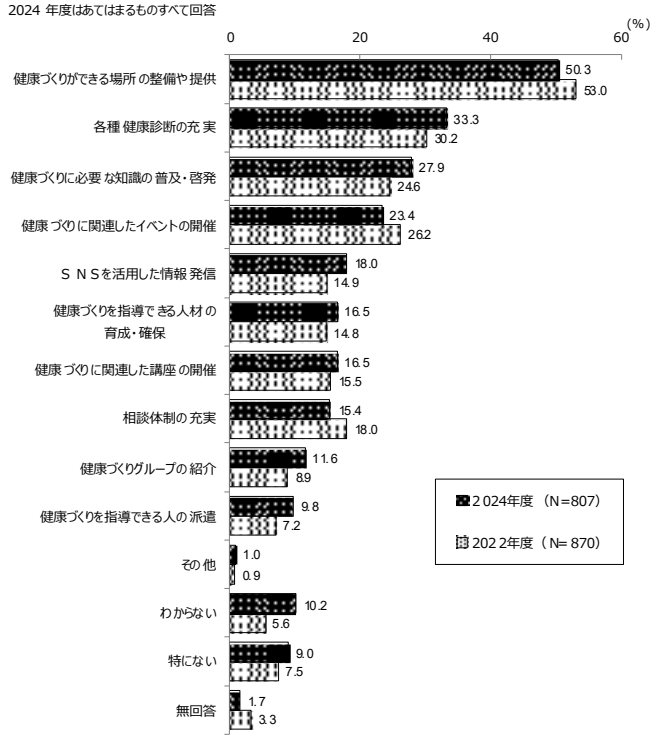
２１　「地域包括ケアシステム」における自助・互助として行ってみたい活動内容



「『地域包括ケアシステム』における自助・互助として行ってみたい活動内容」について聞いたところ、「趣味など生きがいづくり」(25.3%)が最も高く、次いで「食生活改善や運動・体操などの健康づくり」(23.2%)の順となった。

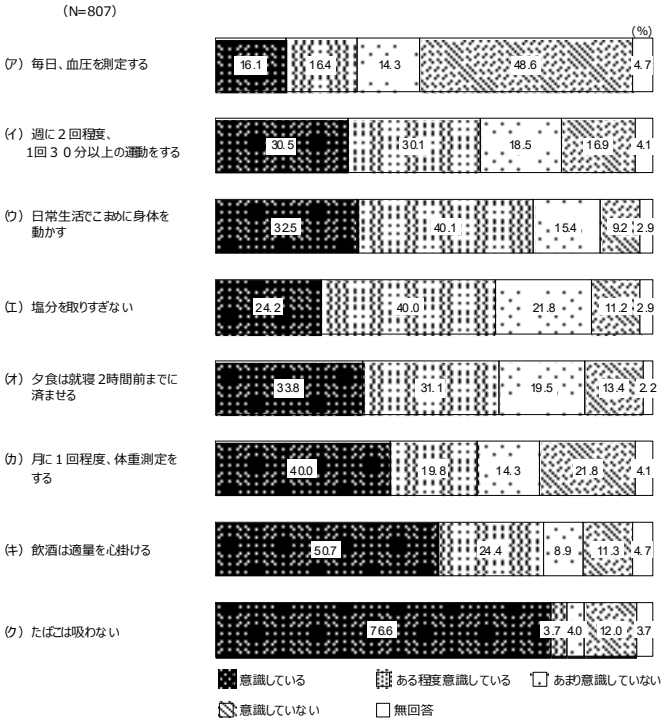
２２　健康づくり推進のため、重要だと思う取組

＊2020 年度、2022 年度は3つまでの回答として聴取
2024 年度はあてはまるものすべて回答



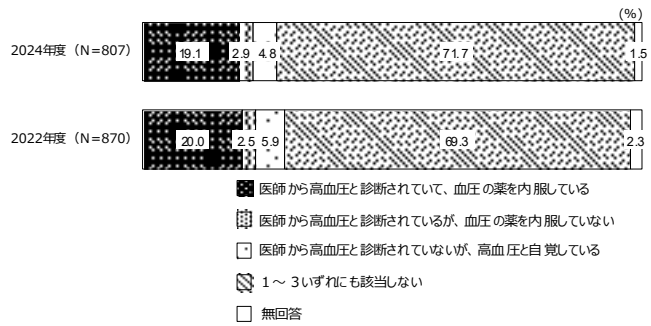
「健康づくり推進のため、重要だと思う取組」について聞いたところ、「健康づくりができる場所の整備や提供」(50.3%)が最も高く、次いで「各種健康診断の充実」(33.3%)、「健康づくりに必要な知識の普及・啓発」(27.9%)、「健康づくりに関連したイベントの開催」(23.4%)の順となった。

２３　日々の健康づくりとして意識していること



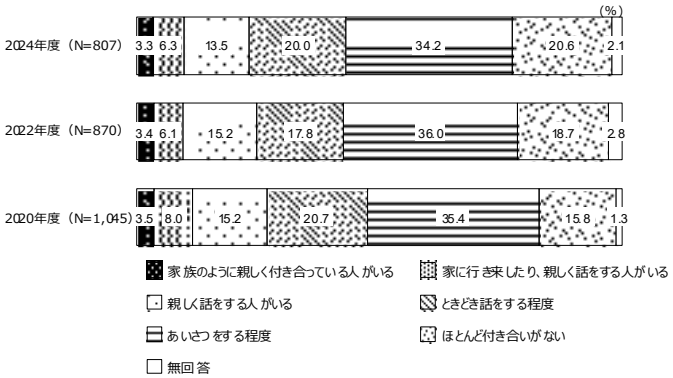
「日々の健康づくりとして意識していること」について聞いたところ、「意識している」と「少し意識している」を合わせた『意識している計』は、「たばこを吸わない」(80.3%)が最も高い結果となった。

２４　高血圧に関する健康状態



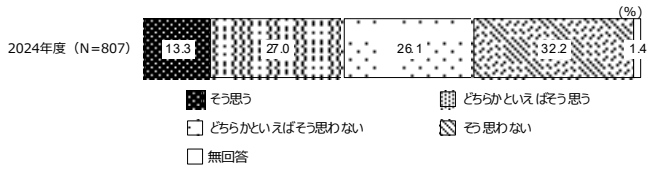
「高血圧に関する健康状態」について聞いたところ、「いずれにも該当しない」(71.7%)が最も高く、次いで「医師から高血圧と診断されていて、血圧の薬を内服している」(19.1%)、「医師から高血圧と診断されていないが、高血圧と自覚している」(4.8%)、「医師から高血圧と診断されているが、血圧の薬を内服していない」(2.9%)の順となった。

２５　近所付き合いの程度



「近所付き合いの程度」について聞いたところ、「あいさつをする程度」(34.2%)が最も高く、次いで「ほとんど付き合いがない」(20.6%)、「ときどき話をする程度」(20.0%)の順となった。

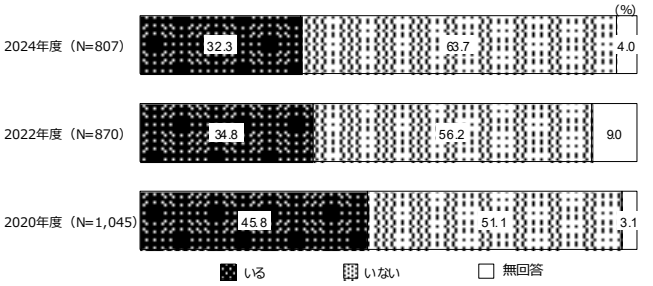
２６　自分と世代が異なる人との付き合いの状況



「自分と世代が異なる人との付き合いが多いか」について聞いたところ、「そう思わない」（32.2%）が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」（27.0%）、「どちらかといえばそう思わない」（26.1%）の順となった。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』は 40.3%となった。

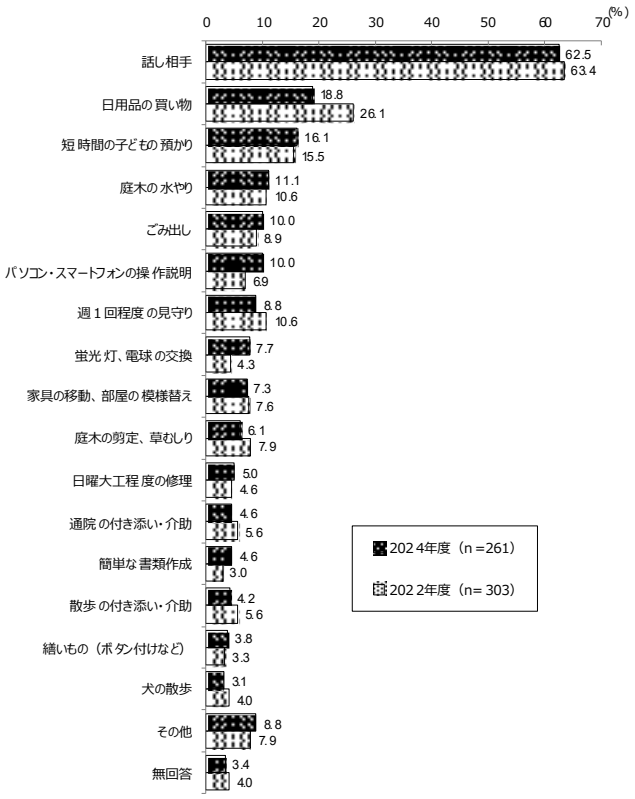
２７　近所に手助けを頼める人の有無



「近所に手助けを頼める人の有無」について聞いたところ、「いる」が 32.3%、「いない」が 63.7%となった。

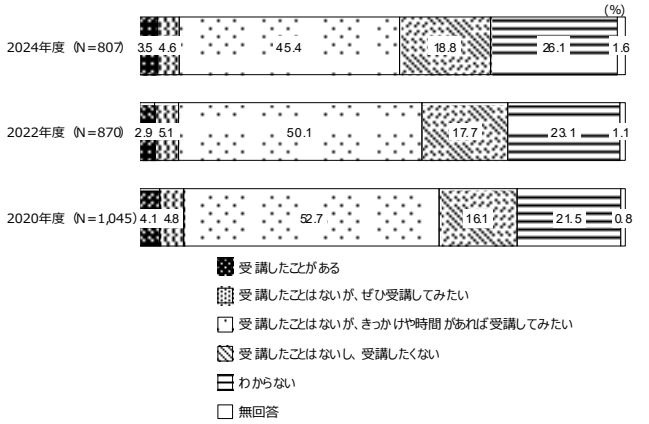
「いる」は、2022 年度より 2.5 ポイント低い結果となった。

２８　近所に手助けを頼めると思うこと



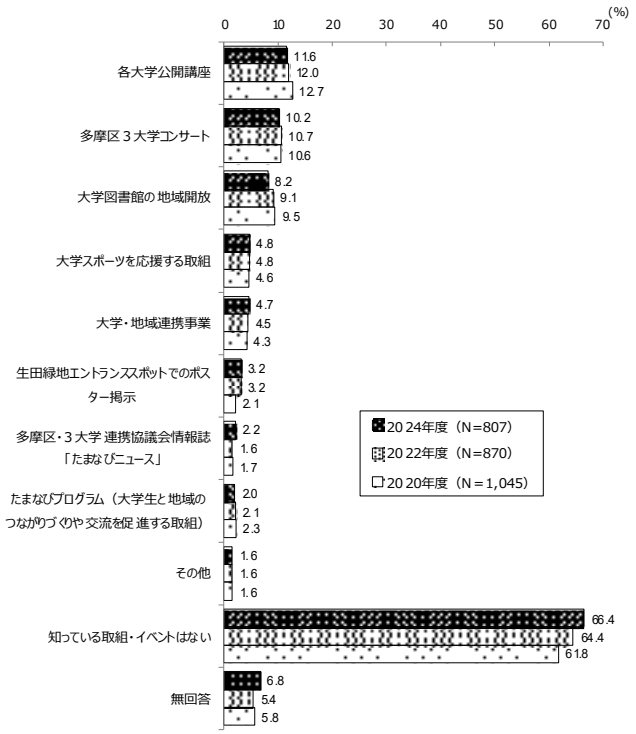
「近所に手助けを頼めると思うこと」について聞いたところ、「話し相手」（62.5%）が最も高く、次いで「日用品の買い物」（18.8%）、「短時間の子どもの預かり」（16.1%）、「庭木の水やり」（11.1%）の順となった。

２９　「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向



『認知症サポーター養成講座』の受講経験と受講意向」について聞いたところ、「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」（45.4%）が最も高く、次いで「わからない」（26.1%）、「受講したことはないし、受講したくない」（18.8%）の順となった。

３０　知っている３大学関連イベント

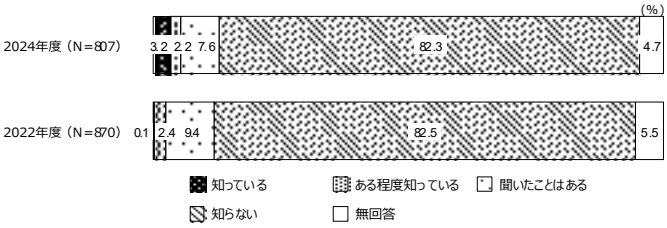


「知っている３大学関連イベント」について聞いたところ、「知っている取組・イベントはない」が 66.4%と最も高い結果となった。

知っているイベントでみると、「各大学公開講座」(11.6%)、「多摩区３大学コンサート」(10.2%)、「大学図書館の地域開放」(8.2%)の順となった。

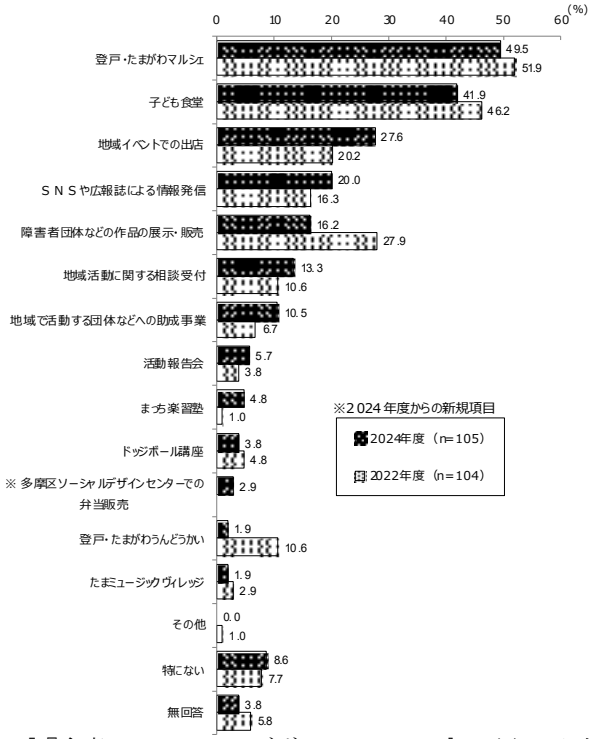
３１　「多摩区ソーシャルデザインセンター」の認知度

＊2020 年度、2022 年度は「よく知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」「知らない」の選択肢で聴取



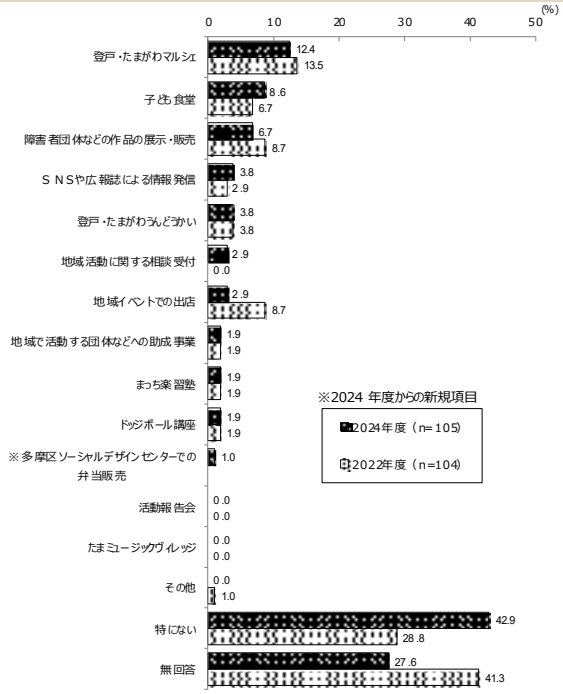
「『多摩区ソーシャルデザインセンター』の認知度」について聞いたところ、「知らない」が 82.3%と最も高い結果となった。また、「知っている」「ある程度知っている」「聞いたことはある」を合わせた『聞いたことがある計』は 13.0%となった。

３２　「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の認知度



「『多摩区ソーシャルデザインセンター』の取組の認知度」について聞いたところ、「登戸・たまがわマルシェ」(49.5%)が最も高く、次いで「子ども食堂」(41.9%)、「地域イベントでの出店」(27.6%)、「SNS や広報誌による情報発信」(20.0%)の順となった。

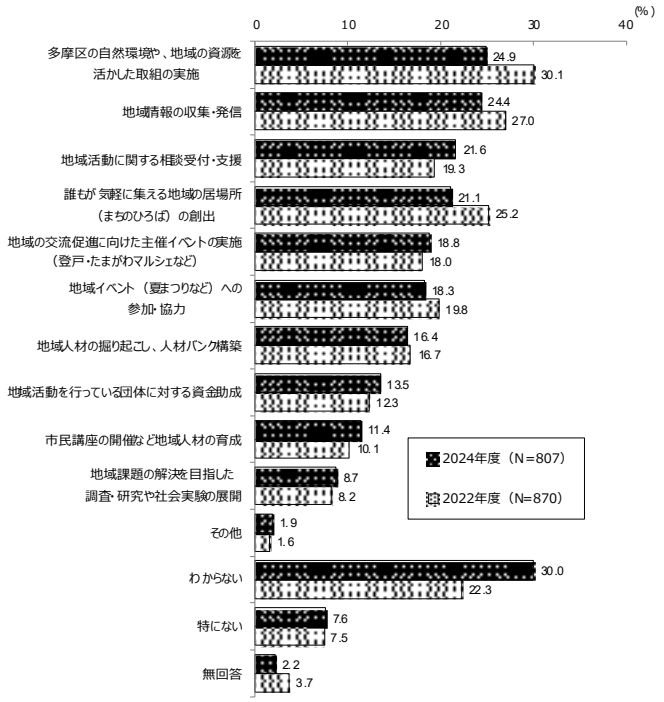
３３　「多摩区ソーシャルデザインセンター」の取組の利用・参加経験



「『多摩区ソーシャルデザインセンター』の取組の利用・参加経験」について聞いたところ、「特にない」が 42.9%と最も高い結果となった。

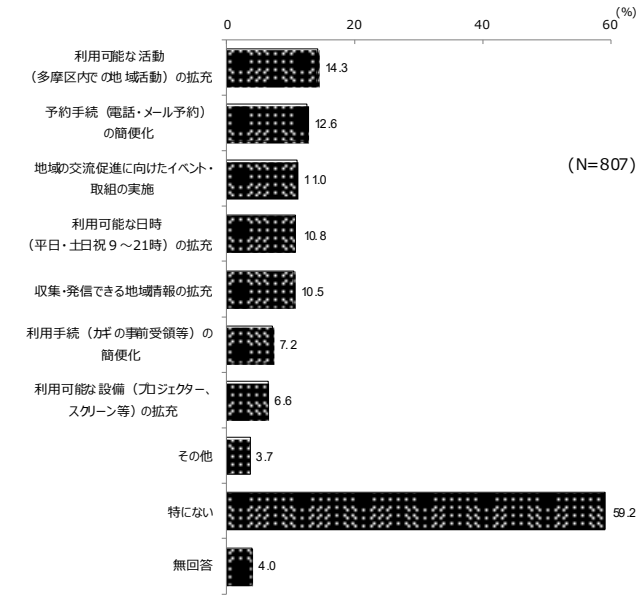
利用した、参加したことのある取組でみると、「登戸・たまがわマルシェ」(12.4%)が最も高く、次いで「子ども食堂」(8.6%)の順となった。

３４　多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきこと



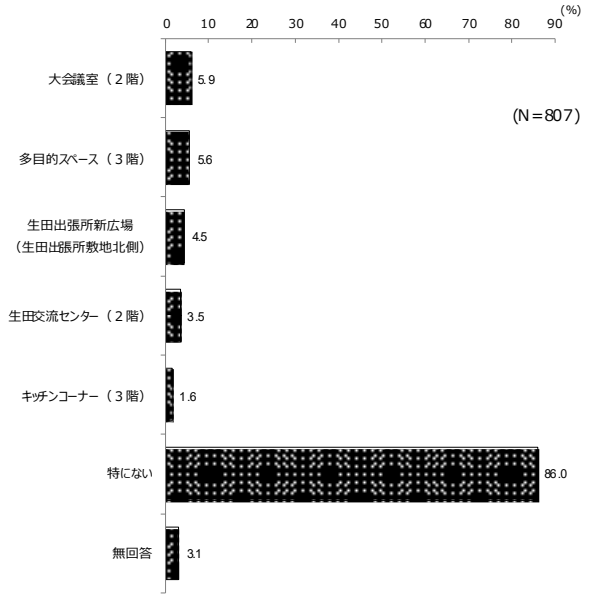
「多摩区におけるソーシャルデザインセンターが力を入れて取り組むべきこと」について聞いたところ、「多摩区の自然環境や、地域の資源を活かした取組の実施」(24.9%)が最も高く、次いで、「地域情報の収集・発信」(24.4%)、「地域活動に関する相談受付・支援」(21.6%)、「誰もが気軽に集える地域の居場所（まちのひろば）の創出」(21.1%)の順となった。

３６　生田出張所がコミュニティ拠点として活用されるために、力を入れてほしい取組



「生田出張所がコミュニティ拠点として活用されるために力を入れてほしい取組」について聞いたところ、「利用可能な活動(多摩区内での地域活動)の拡充」(14.3%)が最も高く、次いで「予約手続(電話・メール予約)の簡便化」(12.6%)、「地域の交流促進に向けたイベント・取組の実施」(11.0%)、「利用可能な日時(平日・土日祝 9～21 時)の拡充」(10.8%)の順となった。

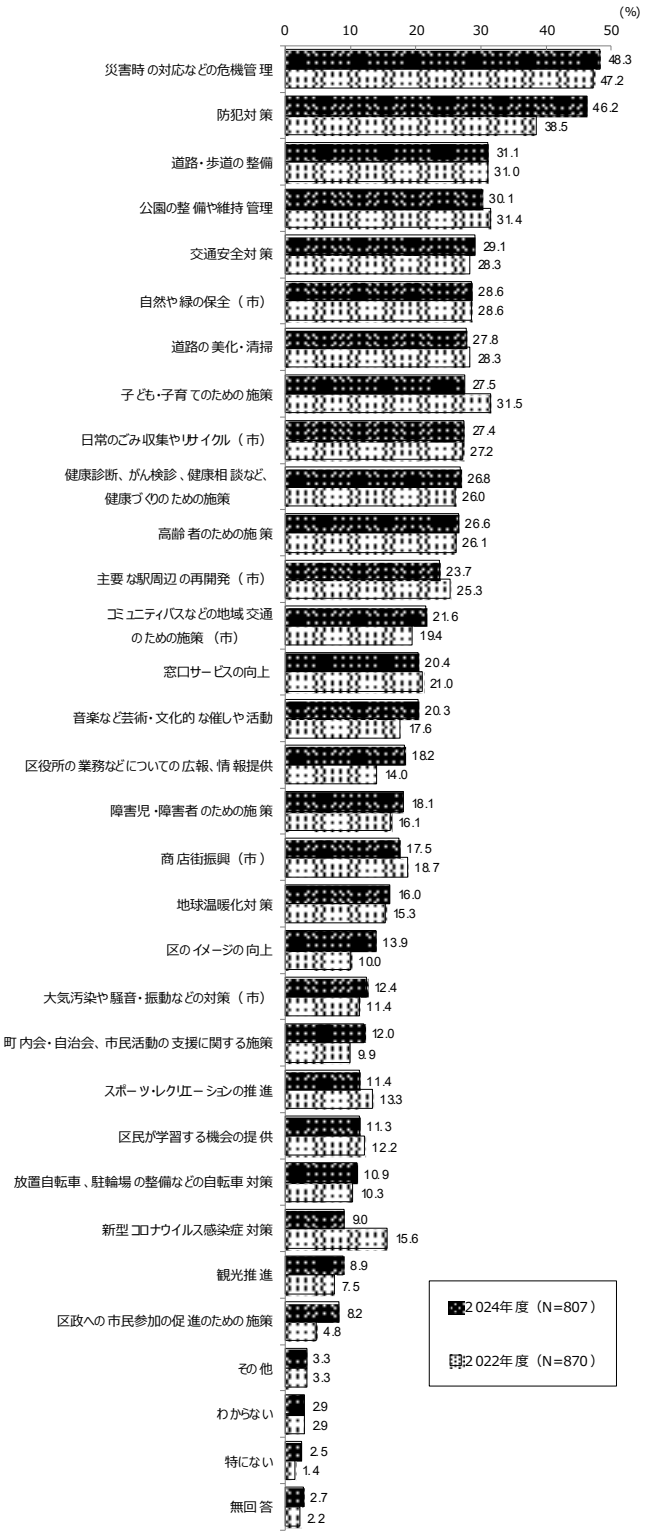
３５　生田出張所の市民利用スペースの認知度



「生田出張所の市民利用スペースの認知度」について聞いたところ、「特にない」が 86.0%と最も高い結果となった。知っている市民利用スペースで見ると、「大会議室(2 階)」(5.9%)、「多目的スペース(3 階)」(5.6%)、「生田出張所新広場(生田出張所敷地北側)」(4.5%)の順となった。

３７　区役所が力を入れて取り組むべき施策

＊項目の後ろに(市)とあるものは、現時点で主に市役所を中心として進めているもの



「区役所が力を入れて取り組むべき施策」について聞いたところ、「災害時の対応などの危機管理」（48.3%）が最も高く、次いで「防犯対策」（46.2%）、「道路・歩道の整備」（31.1%）の順となった。

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

令和６年度
多摩区区民意識アンケート調査
概　要　版

令和７（2025）年２月発行

川崎市多摩区役所まちづくり推進部　企画課

〒214-8570　神奈川県川崎市多摩区登戸 1775-1
電話：044-935-3140

多摩区区民意識アンケートの《報告書》《概要版》は、
川崎市多摩区ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス　https://www.city.kawasaki.jp/tama/